



平成 19 年 1 月 10 日

各 位

会 社 名 イリソ電子工業株式会社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 佐 藤 定 雄
役 職 氏 名
(ジャスダック コード番号：6908)
取 締 役
問 い 合 せ 先 専 務 執 行 役 員 渡 部 武 光
管 理 本 部 長
電 話 番 号 044-811-6311(代表)

新株式発行並びに株式売出しに関するお知らせ

平成 19 年 1 月 10 日開催の当社取締役会において、新株式発行並びに当社株式の売出しに関し、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 公募による新株式発行（一般募集）

- (1) 募 集 株 式 の 種 類 及 び 数 普通株式 1,000,000 株
- (2) 払 込 金 額 の 決 定 方 法 日本証券業協会の定める公正慣習規則第 14 号第 7 条の 2 に規定される方式により、平成 19 年 1 月 18 日(木)から平成 19 年 1 月 23 日(火)までのいずれかの日（以下「発行価格等決定日」という。）に決定する。
- (3) 増加する資本金及び資本準備金の額 増加する資本金の額は、会社計算規則第 37 条第 1 項に従い算出される資本金等増加限度額の 2 分の 1 の金額とし、計算の結果 1 円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、当該資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。
- (4) 募 集 方 法 一般募集とし、新光証券株式会社、野村証券株式会社、三菱UFJ証券株式会社及び丸三証券株式会社（以下「引受人」と総称する。）に全株式を買取引受けさせる。
なお、一般募集における発行価格（募集価格）は、日本証券業協会の定める公正慣習規則第 14 号第 7 条の 2 に規定される方式により、発行価格等決定日における株式会社ジャスダック証券取引所の終値（当日に終値のない場合は、その日に先立つ直近日の終値）に 0.90～1.00 を乗じた価格（1 円未満端数切り捨て）を仮条件として、需要状況を勘案した上で決定する。
- (5) 引 受 人 の 対 価 引受手数料は支払わず、これに代わるものとして一般募集における発行価格（募集価格）と引受人より当社に払込まれる金額である払込金額との差額の総額を引受人の手取金とする。
- (6) 申 込 期 間 平成 19 年 1 月 24 日(水)から平成 19 年 1 月 26 日(金)まで。
なお、需要状況を勘案した上で繰り上げることがあり、最も繰り上がった場合は、平成 19 年 1 月 19 日(金)から平成 19 年 1 月 23 日(火)までとなる。
- (7) 払 込 期 日 平成 19 年 1 月 26 日(金)から平成 19 年 1 月 31 日(水)までのいずれかの日。
すなわち、上記(6)記載のとおり、需要状況を勘案した上で申込期間を繰り上げることがあり、それに伴って払込期日が最も繰り上がった場合は、平成 19 年 1 月 26 日(金)となる。
- (8) 申 込 株 数 単 位 100 株
- (9) 払込金額、増加する資本金及び資本準備金の額、その他公募による新株式発行に必要な一切の事項の決定は、代表取締役社長に一任する。
- (10) 前記各号については、証券取引法による届出の効力発生を条件とする。

ご注意： この文書は、当社の新株式発行並びに株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出し届出目論見書（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

2. 当社株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）（後記【ご参考】1. を参照のこと。）
- (1) 売 出 株 式 の 種 類 及 び 数
普通株式 150,000 株
なお、株式数は上限を示したものであり、一般募集における需要状況により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが中止される場合がある。売出株式数は、需要状況を勘案した上で、発行価格等決定日に決定される。
 - (2) 売 出 人 及 び 売 出 株 式 数
新光証券株式会社 150,000 株
 - (3) 売 出 価 格
未定（発行価格等決定日に決定する。なお、売出価格は一般募集における発行価格（募集価格）と同一とする。）
 - (4) 売 出 方 法
一般募集の需要状況を勘案した上で、新光証券株式会社が当社株主から150,000株を上限として借入れる当社普通株式の売出しを行う。
 - (5) 申 込 期 間
一般募集における申込期間と同一とする。
 - (6) 受 渡 期 日
一般募集における払込期日の翌営業日とする。
 - (7) 申 込 株 数 単 位
100 株
 - (8) 売出価格、その他当社株式の売出しに必要な一切の事項の決定は、代表取締役社長に一任する。
 - (9) 前記各号については、証券取引法による届出の効力発生を条件とする。

3. 第三者割当による新株式発行（後記【ご参考】1. を参照のこと。）

- (1) 募 集 株 式 の 種 類 及 び 数
普通株式 150,000 株
- (2) 払 込 金 額 の 決 定 方 法
発行価格等決定日に決定する。なお、払込金額は一般募集における払込金額と同一とする。
- (3) 増加する資本金及び資本準備金の額
増加する資本金の額は、会社計算規則第37条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、当該資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。
- (4) 割 当 先 及 び 割 当 株 式 数
新光証券株式会社 150,000 株
- (5) 申 込 期 間
平成19年2月23日(金)
- (6) 払 込 期 日
平成19年2月26日(月)
- (7) 申 込 株 数 単 位
100 株
- (8) 上記(5)記載の申込期間までに申込みのない株式については、発行を打切るものとする。
- (9) 払込金額、増加する資本金及び資本準備金の額、その他本第三者割当による新株式発行に必要な一切の事項の決定は、代表取締役社長に一任する。
- (10) 前記各号については、証券取引法による届出の効力発生を条件とする。
- (11) 公募による新株式発行及びオーバーアロットメントによる売出しが中止となる場合は、本第三者割当による新株式発行も中止する。

以 上

ご注意： この文書は、当社の新株式発行並びに株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【ご参考】

1. オーバーアロットメントによる売出し等について

オーバーアロットメントによる売出しは、前記「1. 公募による新株式発行（一般募集）」に記載の一般募集（以下「一般募集」という。）にあたり、一般募集とは別に、その需要状況を勘案した上で、新光証券株式会社が当社株主より 150,000 株を上限として借入れる当社普通株式の売出しであります。したがって、オーバーアロットメントによる売出しの売出株式数は上限を示したものであり、需要状況により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが中止される場合があります。

なお、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、新光証券株式会社がオーバーアロットメントによる売出しのために当社株主から借入れた株式（以下「借入れ株式」という。）の返却に必要な株式を取得させる目的で、当社は平成 19 年 1 月 10 日（水）開催の取締役会において、新光証券株式会社を割当先とする当社普通株式 150,000 株の第三者割当増資（以下「本件第三者割当増資」という。）を、平成 19 年 2 月 26 日（月）を払込期日として行うことを決議しております。

また、新光証券株式会社は、一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しの申込期間の終了する日の翌日から平成 19 年 2 月 22 日（木）までの間（以下「シンジケートカバー取引期間」という。）、借入れ株式の返却を目的として、株式会社ジャスダック証券取引所において、オーバーアロットメントによる売出しに係る株式数を上限とする当社普通株式の買付け（以下「シンジケートカバー取引」という。）を行う場合があります。新光証券株式会社がシンジケートカバー取引により取得した全ての株式は、借入れ株式の返却に充当されます。なお、シンジケートカバー取引期間内において、新光証券株式会社の判断で、シンジケートカバー取引が全く行われず、又はオーバーアロットメントによる売出しに係る株式数に至らない株式数でシンジケートカバー取引が終了される場合があります。

さらに、新光証券株式会社は、一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しに伴って安定操作取引を行うことがあり、かかる安定操作取引により買付けた当社普通株式の全部又は一部を借入れ株式の返却に充当することがあります。

オーバーアロットメントによる売出しに係る株式数から、安定操作取引及びシンジケートカバー取引によって取得し、借入れ株式の返却に充当する株式数を減じた株式数について、新光証券株式会社は本件第三者割当増資に係る割当てに応じる予定であります。そのため、本件第三者割当増資における発行数の全部又は一部につき申込みが行われず、その結果、失権により本件第三者割当増資における最終的な発行数がその限度で減少し、又は発行そのものが全く行われない場合があります。

2. 今回の公募増資による発行済株式総数の推移

現在の発行済株式総数	11,165,549 株（平成 18 年 12 月 31 日現在）
公募増資による増加株式数	1,000,000 株
公募増資後の発行済株式総数	12,165,549 株
第三者割当増資による増加株式数	150,000 株（注）
第三者割当増資後の発行済株式総数	12,315,549 株（注）

（注）上記「3. 第三者割当による新株式発行」の発行新株式数の全株に対し新光証券株式会社から申込みがあり、発行がなされた場合の数字です。

3. 調達資金の使途

(1) 今回調達資金の使途

今回の公募増資及び第三者割当増資に係る手取概算額合計上限 4,975,400,000 円については、全額を設備資金に充当する予定であります。

ご注意： この文書は、当社の新株式発行並びに株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

なお、当社の有価証券報告書(第40期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)中に記載する「第一部 企業情報 第3 設備の状況 3 設備の新設、除却等の計画 (1) 重要な設備の新設等」のうち、当社の設備計画に係るものは平成18年11月30日現在以下のとおりとなっております。

会社名	事業所名 (所在地)	事業の種類別の 名称	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定年月	完成後の 増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)				
提出会社	茨城工場 (茨城県 常陸大宮市)	コネクタ事業	生産設備	880,000	627,508	自己資金	平成18年4月	平成19年3月	生産能力 20%増
			金型	220,000	118,583	自己資金	平成18年4月	平成19年3月	
			生産設備	500,000	—	自己資金及び増資による 調達資金	平成19年4月	平成20年3月	生産能力 10%増
			金型	300,000	—		平成19年4月	平成20年3月	
	本社 (神奈川県 川崎市)		ERPシステム	800,000	—	増資による調達資金	平成19年1月	平成22年3月	—
	テクノロジー パーク (神奈川県 横浜市)	コネクタ事業	建物	1,000,000	607,293	借入金	平成18年5月	平成19年4月	—
付帯設備・ 備品等			200,000	—	自己資金	平成19年2月	平成19年6月	—	
上海意力速 電子工業 有限公司	本社工場 (中華人民 共和国上海市)	コネクタ事業	生産設備	280,000	241,481	自己資金	平成18年4月	平成19年3月	生産能力 20%増
			金型	350,000	290,305	自己資金	平成18年4月	平成19年3月	
			合理化設備	700,000	—	増資による調達資金	平成19年1月	平成22年3月	—
			生産設備	300,000	—	自己資金及び増資による 調達資金	平成19年4月	平成20年3月	生産能力 10%増
			金型	200,000	—		平成19年4月	平成20年3月	
IRISO ELECTRONICS PHILIPPINES, INC	本社工場 (フィリピン共和国 キャピタ市)	コネクタ事業	生産設備	40,000	28,995	自己資金	平成18年4月	平成19年3月	生産能力 20%増
			金型	30,000	25,951		平成18年4月	平成19年3月	
			生産設備	40,000	—	自己資金	平成19年4月	平成20年3月	生産能力 10%増
			金型	30,000	—		平成19年4月	平成20年3月	
IRISO Electronics Vietnam Co.	本社工場 (ベトナム ハイズオン省)	コネクタ事業	土地・建物	600,000	61,139	自己資金及び増資による 調達資金	平成18年10月	平成21年3月	生産能力 10%増
			生産設備	2,500,000	—		平成19年4月	平成22年3月	

(2) 前回調達資金の用途の変更
該当事項はありません。

(3) 業績に与える見通し

今回の調達資金による当社グループの生産中核拠点の中国上海工場への合理化投資、新規の量産拠点となるベトナム工場への設備投資及び当社グループ相互間(顧客等を含む)の情報伝達の中枢を担う基幹システムの構築は、当社グループの中・長期の収益拡大につながるものと考えております。

4. 株主への利益配分等

(1) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する安定的な利益還元を行うことを経営の重要政策と認識し、業績、経営環境並びに中長期的な財務体質の強化を勘案して配当を行うことを基本方針としております。

(2) 配当決定にあたっての考え方

配当決定にあたっての考え方は、上記(1)のとおりであります。

ご注意： この文書は、当社の新株式発行並びに株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出し届出目論見書(並びに訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

(3) 内部留保資金の使途

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、コスト競争力を高め、市場ニーズに応える技術開発・製造体制を強化し、さらには、グローバル戦略の展開を図るために有効活用することを基本方針としております。

(4) 過去3決算期間の配当状況

	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期
1株当たり当期純利益	51.03円	101.42円	96.10円
1株当たり配当金	7.00円	10.00円	18.00円
実績配当性向	13.7%	9.9%	18.7%
株主資本利益率	7.8%	14.1%	10.7%
株主資本配当率	1.2%	1.4%	2.2%

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、決算期末の当期純利益を期中平均株式総数で除した数値であります。

2. 株主資本利益率は、当該決算期間の当期純利益を株主資本（期首の資本の部合計と期末の資本の部合計の平均）で除した数値です。

3. 株主資本配当率は、年間配当金総額を株主資本（期首の資本の部合計と期末の資本の部合計の平均）で除した数値です。

(5) 過去の利益配分ルールの遵守状況

該当事項はありません。

5. その他

(1) 売先指定の有無

該当事項はありません。

(2) 潜在株式による希薄化情報等

当社は、平成13年改正旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づく新株予約権方式によるストックオプション制度を採用しております。なお、今回の公募増資及び第三者割当増資後の発行済株式総数上限（12,315,549株）に対する下記の新株発行予定残数の比率は0.45%となる見込みであります。

株主総会の 特別決議日	平成18年12月31日現在			
	新株式発行 予定残数	新株予約権の 行使時の払込金額	資本組入額	権利行使期間
平成16年6月25日	56,000株	1,900円	950円	自平成18年7月1日 至平成21年6月30日

(3) 過去のエクイティ・ファイナンスの状況等

① 過去3年間に行われたエクイティ・ファイナンスは以下のとおりです。

公募増資	
発行株式数	1,000,000株
発行日	平成16年3月1日
発行価格	1,348円
発行総額	1,348百万円

ご注意： この文書は、当社の新株式発行並びに株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出し届出目論見書（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

② 過去3決算期間及び直前の株価の推移

	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期
始 値	475 円	1,450 円	1,850 円	4,740 円
高 値	1,690 円	2,040 円	5,490 円	4,740 円
安 値	470 円	1,120 円	1,810 円	3,020 円
終 値	1,410 円	1,850 円	4,740 円	4,440 円
株価収益率	27.6 倍	18.2 倍	49.3 倍	－ 倍

- (注) 1. 平成19年3月期の株価については、平成19年1月9日現在で表示しております。
 2. 株価収益率は、決算期末の株価（終値）を当該決算期の1株当たり当期利益で除した数値であります。

(4) その他

該当事項はありません。

以 上

ご注意： この文書は、当社の新株式発行並びに株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。